

日本文藝研究

第五十四卷 第三号

季 刊

「刺青」論……………	永井敦子…1
——〈娘〉の〈軀身〉の物語——	
谷崎潤一郎『痴人の愛』論……………	中野登志美…17
——『痴人の愛』に於ける拝跪の美学——	
大岡昇平『堺港攘夷始末』論……………	尾添陽平…33
——単一の「物語」への回収を拒否する歴史——	

関西学院大学日本文学会

前号 目次

六十九首本『小町集』の考察……………角田宏子…1

幸田露伴『風流佛』考(下)……………岡田正子…21

——「珠連」構想背景と狩野芳崖をめぐって——

「江戸っ子」の「見解書」としての『阪神見聞録』……………藤原智子…41

——谷崎潤一郎『阪神見聞録』全文分析による

仮説提議「大阪」の混同とその理由——

編集後記

▼「霜葉は二月の花よりも紅なり」(唐・杜牧) ▼今年の秋の冷え込みは記録的。ひとえに震えるばかりなり。▼されど、例年になく錦繡。堪能この上なし。▼暖冬や如何? 然からば、スキー板を買い換えねば。心は到る雪国へ。

▼今号織りなす三編。ご斧正賜りますようお願い致します。(森田)

投稿・執筆について

- 一、執筆資格をもつものは、日本文学会会員、『日本文藝研究』購読会員の他、編集委員会が認めたものとする。
- 二、原稿内容は日本文学および日本語を主な対象とし、未公開のものにかぎる。
- 三、研究論文は四百字詰め原稿用紙換算で三十五枚を目安とする。研究論文以外の原稿については編集委員会に問い合わせること。
- 四、投稿は随時受け付ける。
- 五、原稿の採否は、編集委員会が決定する。
- 六、本誌に掲載された論文などの著作権は著者に帰属するものとする。ただし、関西学院大学日本文学会は、本誌に掲載された原稿を電子化または複製の形態などで公開する権利を有するものとする。

二〇〇二年十月

関西学院大学日本文学会

二〇〇二年十二月五日 印刷
二〇〇二年十二月十日 発行

定価八〇〇円

日本文藝研究 第五十四卷第三号

〒六六二一八五二

西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学日本文学会

(〇七九八)五四一六二八(直通)

編集兼 発行 武 久 堅

発行所 日本文学会

〒六六二一八五二 京都市右京区西院清水町一三

印刷所 協和印刷株式会社

TEL (〇七五)三二二四〇一〇

FAX (〇七五)三二二四〇一一

注文規定

御注文は前金にて関西学院大学日本文学会へ御願いたします。振替を御利用ください。(振替〇二五〇一七六〇五八五)

一年分(送料共) 三、〇〇〇円